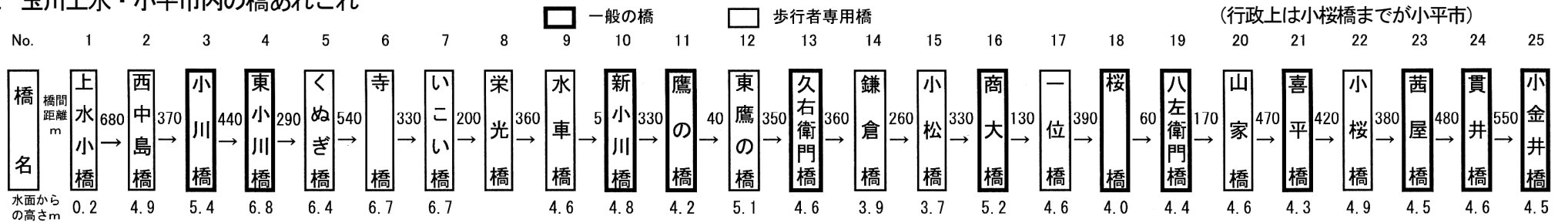


1. 玉川上水・小平市内の橋あれこれ



- 1 **上水小橋** 処理水放流口の水面際に架けられている。素掘りのままの堀底水面まで降りることができる。
- 2 **西中島橋** 橋名は西側一帯の旧字名「西中島」から。新堀用水はこの橋下流まで胎内掘り(トンネル)。
- 3 **小川橋** 上水記に「小川上ノ橋・小川橋共云」との名がある。昔小川村と砂川村を結んだ重要な古い橋。
- 4 **東小川橋** 橋の西側に開削当初の小川村分水の分水口があったが文化年間に小川橋の上流へと移された。
- 5 **くぬぎ橋** カワセミに出会える橋。素掘りの堀が美しく続く。付近一帯の堀の深さは6メートルを超える。
- 6 **寺橋**
明治年代には「小川土橋」の名のある比較的古い橋。橋の北側に小川寺があることからの命名。
- 7 **いこい橋** 一般市民からの公募により命名。上流両側は二次大戦時の爆弾投下跡で堀が広がっている。
- 8 **栄光橋** 創価学園専用の横断歩道橋。上水北側の校舎と南側のグラウンドを結ぶ。上水唯一の民間管理の橋。
- 9 **水車橋** 左岸の新堀用水北側に昭和25年ごろまで精米・製粉用の「小島水車」があったことからの命名。
- 10 **新小川橋** 旧名は三左衛門橋と呼ばれ明治初期の記録に名がある古い橋。橋の通りは水車通りと呼ばれる。



練り玉石積みみの寺橋の橋脚

- 11 **鷹の橋** この橋がない頃は鉄橋を渡り上水に転落する事故もあった。昭和34年に木製橋が架けられた。



堀底から見る鷹の橋・西武線鉄橋・東鷹の橋(昭和60年頃)

- 12 **東鷹の橋** すぐ上流側は西武国分寺線の鉄橋。下流側の左岸は素掘りの垂直な壁面が見事に残る。
- 13 **久右衛門橋** 上水記にもその名前が見られる古い橋。橋名は架橋当時の名主、久右衛門から。府中街道が通る。
- 14 **鎌倉橋** 付近を古道の鎌倉街道が南北に横切っていたとされる。北側の道は現在も鎌倉街道と呼ばれる。
- 15 **小松橋** 架橋当時付近は赤松林が広がり、「松が丘」の地名があった。現在玉川上水に残る唯一の木製橋。
- 16 **商大橋** 東京商科大学予科(現一橋大学)が神田・一ツ橋から橋北側の現在地に移転。橋名は校名から。
- 17 **一位橋** 付近に常緑針葉樹の「イチイ」の木が多かったが、今は枯れ木や朽ちた切り株が目立つ。
- 18 **桜橋** 橋の南に多摩湖鉄道の「桜堤」駅が開業。橋名はこの駅名に由来。この駅は廃止され今はない。
- 19 **八左衛門橋** 享保期以降に開発された小川新田の組頭の一人、滝島八左衛門が架けたとされ、因んでの命名。

- 20 **山家橋** 山家は小川新田の組名の一つで、付近の古くからの地名。明治期の記録には山谷橋の名も。
- 21 **喜平橋** 上水記に「喜兵衛橋・留新田橋共云」とある古い橋。島田喜兵衛、小林喜兵衛の名に因む。
- 22 **小桜橋** コンクリートの偽木製の橋が多い中で鉄製の橋。南側一帯は山桜が今も健在、開花期は見事。
- 23 **茜屋橋** 明治初期まで付近で栽培された染料用の茜(アカネ)の元締め、「茜屋」が橋の袂にあった。
- 24 **貫井橋** 上水記にも名のある古い橋。鈴木新田開拓当時の名主利左衛門が、新田に通う木橋を架けた。
- 25 **小金井橋** 古くは「金井橋」と書かれ上水記にも名がある古い橋。玉川上水現役最古の橋、現在架け替中。

豆知識 石橋 供養塔 (橋供養)

橋のたもとなどに見られる石橋供養塔は、新しく石橋を架けたり、木橋から石橋に架け替えたときに記念碑として造立された。また常に人に踏まれている石橋を供養する意味や、石橋を渡って村内に疫病や災いが入り込むのを防ぐ意味もあるとも伝えられる。

市内の玉川上水や分水に10基の橋供養塔が残る。

小川橋上流側北岸、上鈴木不動尊内、小川町1-2251用水脇(右写真)、宝寿院前共済住宅バス停脇(2基)、円成院内、回田町108用水脇、泉蔵院内、上水本町2-15-20用水脇、鈴木町1-136用水脇、



以上9箇所10基

2. 玉川上水の橋あれこれ その1

概要

寛政3年(1791)に記された上水記では「玉川上水路羽村水元より四ツ谷大木戸迄橋数書付」として82の橋名が明記されている。

現在、開渠部には羽村橋から岩崎橋まで約100箇所の橋がある(水道局用地や旧水衛所の作業橋は除く)。

また、旧浅間橋跡から四ツ谷大木戸跡までの暗渠区間は、すでに撤去された橋も多いが、僅かに残る開渠部や跡地の緑道や公園には約30橋が残されている(一部の橋は親柱や欄干のみ)。

渋谷区では記念碑等として、公園などに残された10橋余りの橋について最近親柱や欄干を造り替えている。

橋の管理

橋は村持(村有)のため、その維持は地元の担当となった。木造のためしばしば架け替えが必要となりその負担は村人にとって大変なものであった。土地面積に比例した割り当てや、近隣の村に助成の嘆願をするなど費用の捻出に苦慮した記録が多く残る。

現在、橋の管理は原則として、国道、都道、市・区道などその道路の管理者が行なっている。(緑道内の一部の歩行者専用橋は東京都が設置)

左右があった久衛門橋

上水記には個人名が付けられた橋は久右衛門橋、八左衛門橋、喜兵衛橋(現喜平橋)、萬助橋、長兵衛橋、孫兵衛橋、久左衛門橋、勘右衛門橋、代右衛門(藤十郎)橋、五郎兵衛橋等がある。

小平市内に現存する久右衛門橋に対し、杉並区のと泉給水所近くには久左衛門橋があった。この橋は現在、暗渠の上に親柱と欄干が残されている。

(太字は現存する橋)

互知識 作場橋

上水記に記載された橋名の約3割(24箇所)は「作場橋」となっている。作場橋とは農作業等で通行するための作場道(作業のための通路)にかかけられた橋で、木造の簡単な無名橋の一般名ともなっている。

3. 玉川上水の橋あれこれ その2

レンガアーチ橋

4橋が現役のレンガアーチ橋として残っている。いずれも上水記に名前のある歴史の古い橋。

☆ 日光橋(福生市・旧日光街道)

上水記「熊川下モノ橋 日光橋とも云」とある。現在の橋は明治24年7月に木橋をレンガアーチ橋に架け替えた。昭和25年3月、道路拡幅のためレンガ橋の両側にコンクリート製アーチ型橋脚を増設した。

現存する道路のレンガアーチ橋としては国内最古の橋とされている。

☆ 久右衛門橋(小平市・府中街道)

昭和7年(1932)架設の橋を平成3年に大幅改修を行った。レンガ積みの古い橋脚は残された。

☆ 小金井橋(小金井市・小金井街道)

現在の橋は昭和5年(1930)に架設されたもので改修されない橋としては玉川上水現役最古の橋。小金井街道が通り車両の通行が多い。昭和45年に橋の上流、下流の両側に歩行者専用橋が架けられた。

平成19年から全面架け替え工事が始まった

☆ 旧牟礼橋(三鷹市・人見街道)

上水記に「久我山橋・玄蕃橋ともいう」とある。また、東橋やどんどん橋とも呼ばれた。

現在の橋は昭和8年(1933)に架橋された。すぐ下流側に斜めに牟礼橋が人見街道に架けられている。

(この他、コンクリート製のアーチ橋として宮下橋がある)

橋はなくても名は残る

代田橋(京王線駅名)

中之橋(環八通り交差点名・中の橋)

一番多いのが新橋・同名の橋

新橋(福生市、武蔵野市、三鷹市)

稲荷橋(立川市、渋谷区)

くぬぎ橋(小平市、武蔵野市)

桜橋(小平市、武蔵野市)

三鷹の新橋は太幸治の遺体発見場所として有名

玉川上水ワンポイントガイド No.5

玉川上水の橋



日光橋(福生市)の美しいアーチ型橋脚

シリーズ 玉川上水ワンポイントガイド

| No | テーマ |
|----|----------------|
| 1 | 玉川上水の概要 |
| 2 | 玉川上水の分水 |
| 3 | 玉川上水の分水・小平編 |
| 4 | 玉川上水と小平周辺の新田開発 |
| 5 | 玉川上水の橋 |
| 6 | 玉川上水の水車 |
| 7 | 玉川上水の通船・船溜り |
| 8 | 玉川上水の樹木・野草・野鳥 |
| 9 | 玉川上水と小金井サクラ |
| 10 | 玉川上水あれこれ |
| 11 | 玉川上水お勧め散歩ガイド |

発行 No. 5 2007年8月

発行 小平・玉川上水再々発見の会
E-mail tamagawasa@sai@yahoo.co.jp
代表 庄司徳治